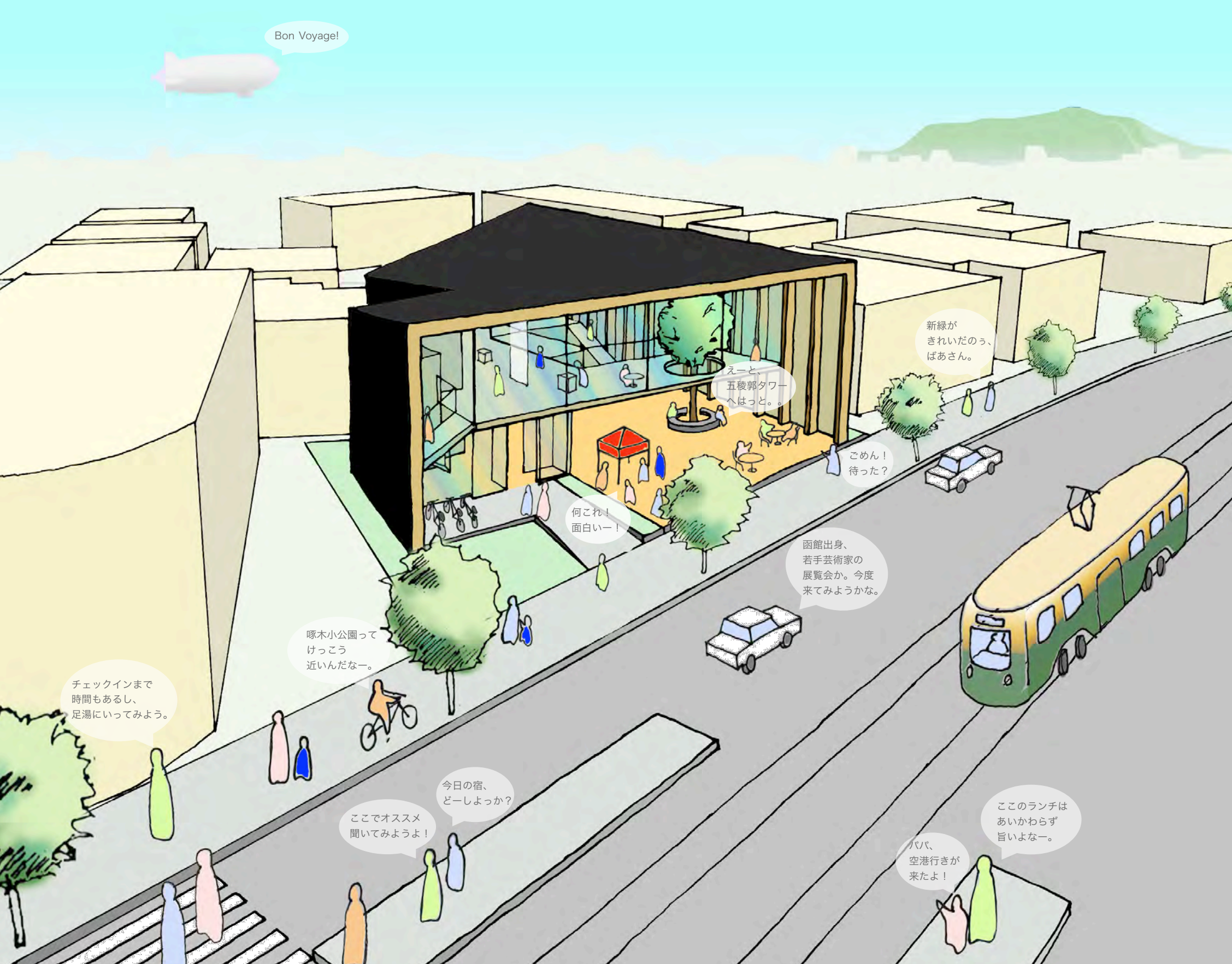


Bon Voyage!



Mixed Medium Gate YUNOKAWA

— 10年後の「未来」を創る街づくり —

■設計趣旨

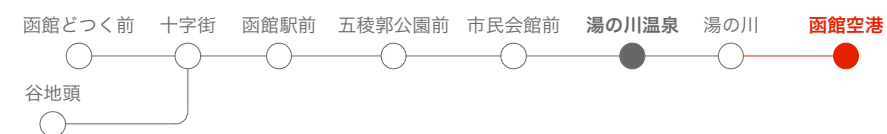
「多くの魅力的な観光資源や歴史的・文化的な資産を持つが、その情報や成果が的確に集約・発信されているとはいえない。」

函館に限らず、多くの地方都市が抱える問題であると考えます。

本計画は、歴史ある街「湯の川」の、ひいては「函館」の10年後のビジョンを、異なる3つのスケールを持つ視点から考察し、提案するものです。

●都市計画：路面電車の空港までの延長

観光資産の1つでもある電車を空港からのメインの移動手段とします。来函数の増加や、市民の電車利用率も上がると推測されます。



●街区計画：街路樹の整備

街に「緑」を追加します。街並に統一感のあるリズムを与え、四季の変化が「湯の川」に新たな魅力と豊かさをもたらします。

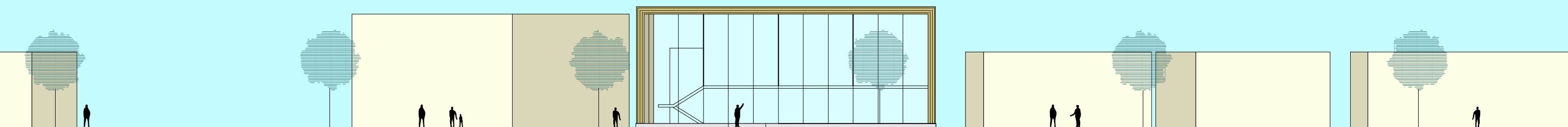
●建築計画：新しい「街の顔—Mixed Medium Gate—」の提案

「門（Gate）」をモチーフとした、観光客だけでなく市民にも愛される施設を提案します。

この街に住む市民や、訪れる多くの人々を招き入れ、異なった価値観や文化が、隔たりのない1つの空間に共存し、様々な交流を生み、お互いの刺激から新たな文化が生まれ、発信される場です。

およそ150年前、開港当時の「温故知新」と「先取の気質」を育む、そんな「函館の新たな玄関口」の提案です。

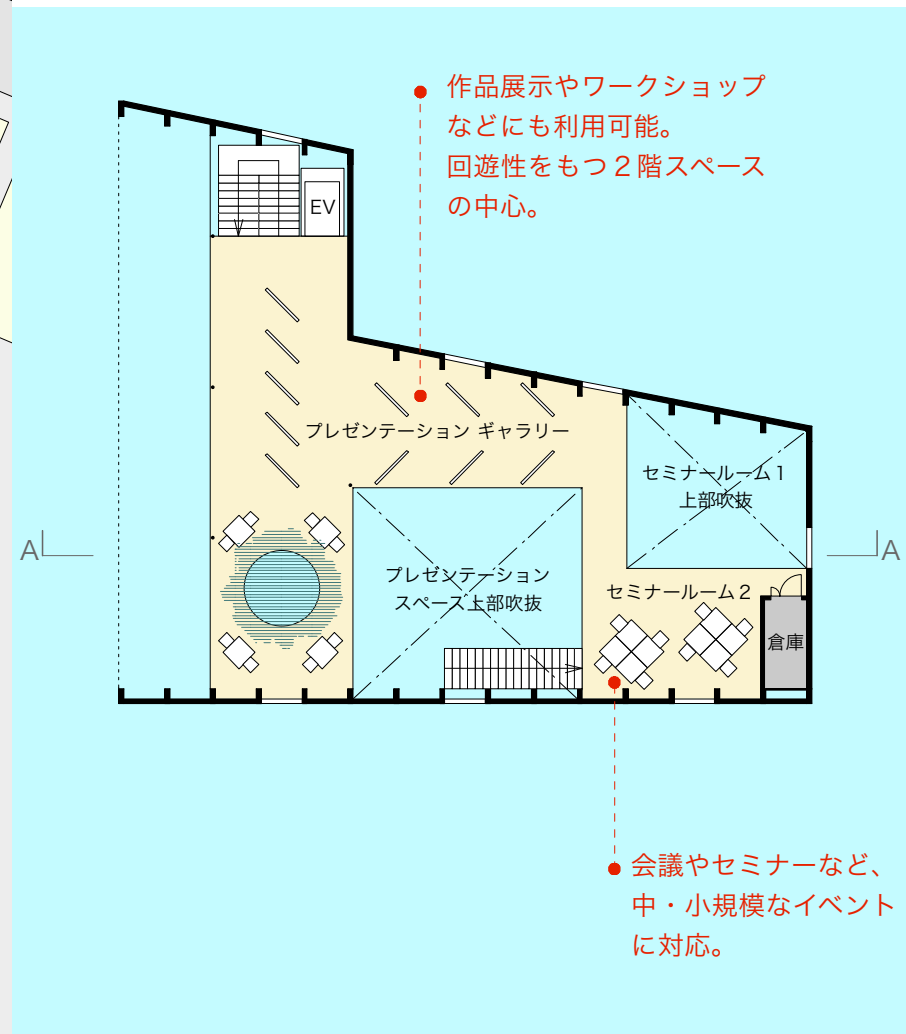
四季折々の姿を見せる樹々と
函館の今を映し出す門（Gate）。



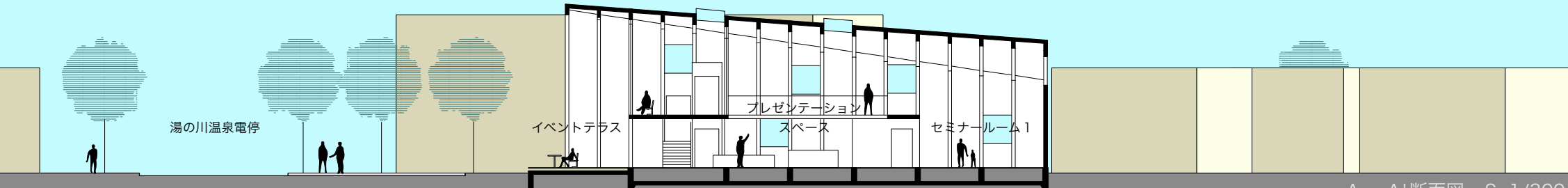


■建築概要

- 構造：集成材大断面木造軸組構法、一部鉄骨造
※集成材には地元特産の「道南杉」や「唐松」等の使用を想定しています。
- 設備：天井ダクト吹出し (夏期)
基礎蓄熱床吹出し居住域暖房 (冬期)
屋根面へのソーラーパネル設置
※夏期・中間期の外気冷房やナイトパージ、冬期の温泉熱を利用した地熱暖房なども検討する価値があると考えています。
- 仕上
 - ・ 外部：カラーガルバリウム鋼板（屋根、外壁）
※海が近いので、耐候性のある材質を検討します。
 - ・ 内部 床 1階：OAフロア、木床
2階：OAフロア、タイルカーペット
 - 壁：構造材現し
スタイロフォーム100mm+木毛セメント板+白漆喰
 - 天井：構造材現し
スタイロフォーム200mm+木毛セメント板+白漆喰



この場で生まれた文化や価値観が、
街へ、世界へと旅立ってゆく。



■面積表

建築面積	413.21㎡ (60.18% : 許容 80%)
述べ床面積	577.68㎡ (84.13% : 許容400%)
1階床面積	351.85㎡
2階床面積	225.83㎡